

会議録要旨

(1) 会議の名称	令和6年度第3回越前市政システム改革推進委員会
(2) 開催日時	令和7年3月10日（月） 午後1時30分～午後3時
(3) 開催場所	越前市役所 3階 大会議室
(4) 出席委員氏名	稲継裕昭委員長、竹内直人委員、井筒智子委員、前田聰一郎委員（オンライン参加）、筏洋介委員、坂多佳子委員
(5) 欠席委員氏名	富永恵子委員
(6) 出席所管課職員職氏名	越前市長 山田賢一 総合政策部長 奥山茂夫、総務部長 橋本尚子、総合政策部理事 横川裕康 デジタル政策課長 神門弘明、人事・法制課長 西野健一 人事・法制課組織改革推進室長 師田健一郎 人事・法制課 副課長 長谷川昌美、阿津川智和 人事・法制課 主事 山田健人
(7) 会議議題	協議事項 （1）行財政システム改革プランの取組みについて （2）市民の幸福に関する条例（仮称）の制定に向けた取組みについて
(8) 開催形態	公開
(9) 傍聴者の数	1人
(10) 会議資料の名称	会議次第、会議資料
(11) 会議の内容の要旨	協議事項 （1）行財政システム改革プランの取組みについて ・手のひら市役所の取組みにより、オンラインで出来る手続きが186件まで増加した。今後、市民への広報に力を入れて欲しい。インセンティブをつける政策を考えてもいい。 ・デジタル化に苦手意識がある人向けに、スマホやパソコンの使い方講座を開くのはどうか。ただし、「パソコン教室」のような講座名にすると、それだけで拒否反応を起こす人がいるので、市民の生活に役立つ講座であることが伝わるように講座名や周知を工夫して欲しい。 ・オンライン手続きを今後も拡大していくのに合わせて、市のホームページをもっと利用者にわかりやすいものにして欲しい。利用目的ごとにボタン式に項目を作成し、ボタンをクリックしてだけで、目的のページや手続きにたどり着けるとわかりやすい。市民がオンライン申請をどのように利用したいのかを押さえながら改善していくと良い。 ・開庁時間の短縮は、市民や議会の理解が必要だが、職員のウェルビーイングの向上、しいては市民のウェルビーイングの向上につながる。すでに実施済みの県外の自治体では、案外スムーズに業務を行っているようだ。研究を進めて欲しい。 （2）市民の幸福に関する条例（仮称）の制定に向けた取組みについて ・法令用語をあまり使用せず、ひとつひとつの条文が短い言葉で構成され

	ていて、よりわかりやすくなった。 ・法令用語や法令的な表現に縛られない表現が用いられているが、この条例が市民へのわかりやすさを重視していること、また権利義務関係を定めているものではないことから、問題ないと思われる。 ・幸福の政策には、①インプット→アウトプット→アウトカムの３段階に展開して評価する軸と、②市民を単に行政サービスの対象とみるのではなく、サービスの主権者、さらには行政の協働者としてみる住民観の軸の２つの軸がある。市の規模や歴史、地域の特性とうまくバランスを取りながら、条例の方向性を決めて、作り上げていくと良い。
--	--